

本日のプログラム

<ロータリー財団>

渡邊委員長

地区ロータリー財団セミナーの報告をいたします。

1. ロータリー財団の歴史的動向

- 1905年 シカゴロータリークラブ創設
- 1910年 全米RC連合会
- 1912年 国際ロータリー組織化
- 1928年 ロータリー財団と命名
- 1947年 奨学金プログラム開始
- 1965年 同額補助金、GSEプログラム開始
- 1978年 3-Hプログラム→ポリオプラスに発展
- 1992年 シェア・システム
- 1994年 恒久基金を確立(世界理解と平和のためのロータリー財団基金を改称)
- 2000年 財団の使命改定:財団資金の活用(国際レベル・地域レベル・国内レベル)
- 2002年 世界平和奨学金開始
- 2003年 地区補助金プログラム開始
- 2007年 ポリオプラス最優先を決定

2. 財団のプログラム

- 教育的プログラム
 - ・国際親善奨学金
 - ・世界平和フェロシップ
 - ・研究グループ交換(GSE)
- 人道的プログラム
 - ・地区補助金
 - ・マッチンググラント
- ポリオプラスプログラム
 - ・ポリオプラス

3. 財団寄付の種類

- ①年次プログラム基金寄付:財団寄付の基本であり財団活動を支える「年次寄付」
- ②恒久基金寄付:2025年度に累積10億ドルを最終目標とする「恒久基金寄付」
- ③使途指定寄付:ポリオプラス寄付を含む「使途指定寄付」

4. 寄付金の行方

- ①年次寄付:国際財団活動資金(WF)・地区財団活動資金(DDF)として多くのプログラムの推進に使われる。
- ②恒久基金寄付:その運用収益のみシェアシステムに反映される。
- ③使途指定寄付:指定したプログラムに使われる。

5. ロータリー財団の使命

ロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすること。

6. 2009～10年度ロータリー財団の目標

- ①ポリオを撲滅するという約束を果たす。
- ②財団を通じて未来の夢計画の6つの重点分野に焦点を当て、より良い世界の構築を目指す。
- ③未来の夢計画を実施しロータリーの奉仕の新世紀を十分に支えられるよう、財団の活性化を図る。
- ④「毎年あなたも100ドルを」と恒久基金を支援する。

7. 2009～10年度ロータリー財団寄付目標

- ①年次寄付(一人あたり)…120ドル/年
- ②恒久基金寄付(一括1,000ドル以上)…各クラブで2名以上
- ③新ポリオプラス(2億ドルチャレンジ)…各クラブ4年間で6,000ドル(2011年6月までに)

※ロータリー財団の詳細は事務所にある「ロータリー財団地域セミナーハンドブック」をご参照ください。

また、ロータリーカードの普及目標が10,000名以上、各クラブ10名以上の所持を目標です。買い物や公共料金の支払いをカード決済にするなどで利用して、そのポイントをロータリー財団に寄付するなど、有効に活用して協力をお願いしたいと思います。



■田内会長より地区協議会の報告として、ロータリークラブの奉仕の理念についてお話がありました。

～1つの人生哲学～

利己的な欲求と義務

これに伴う他人のために奉仕したいという感情

このあいだに常に存在する矛盾を和らげようとする

